



福山市立曙小学校
No. 5
第3学年通信
2026年(令和8年)
6月2日



算数の点数が伸びないのは、計算が苦手なだけとは限らない

本日テストファイルを持ち帰っています。ぜひ、お家でも見ていただきたい問題があったので、紹介をします。その問題とは、算数の「わり算」のテストから出題された問題です。表と裏に似たような問題があるのですが、今回は裏の問題を紹介します。

1 いちごが12個あります。



- ① 3人で同じ数ずつ分けると、1人分は何こになりますか。
- ② 1人に3こずつ分けると、何人に分けられますか。

こんな問題が出ました。①と②の式と答えを解答する問題です。さっそく正答を紹介します。

① $12 \div 3 = 4$ 答え4こ ② $12 \div 3 = 4$ 答え4人

ただ、この問題のミスがとても多かったです。ミスしてしまった子は $12 \div 3$ の計算ができないわけではありません。むしろ、 $12 \div 3$ をミスしている子は、ほとんどいませんでした。

どんな誤答があったかというと・・・

① $3 \div 1 = 3$ 答え3こ ② $1 \div 3$ は3 答え3こ

という誤答がたくさんありました。なぜこうなってしまったのかをこどもたちに聞いてみると、最初に書かれた「いちごが12個あります」を忘れていた。読んでいなかった。という子が何人もいました。また、とりあえず、出てきた数字を並べて式を立てていたという子もいました。

計算はできるのに、算数のテストの点数が伸びずに自信をなくしてしまう。こんな思いはしてほしくありません。問題を読む大切さを伝えるだけでは解決は難しいと考えています。問題文から問題の状況を想像する力や自分の答えがズレていないか判断する力をつけていく必要があると思います。「 $1 \div 3$ は習ってないぞ」など見直して気付く力も大切だと思います。

学校でも色々な方向から指導は継続して行っています。ご家庭でも、声かけやご指導をよろしくお願いいたします。